

JR 連合第36回中央委員会を開催



挨拶する JR 連合荻山会長

2月1日、香川県高松市内において開催し、2024春闘方針をはじめとする活動方針を満場一致で採択しました。開会にあたり、能登半島地震でお亡くなりになられた方々へご冥福をお祈りするため黙禱を捧げ、委員会を代表して挨拶に立ったJR連合荻山会長は、本委員会の主要課題4点、安全・2024春闘・産業政策・組織課題について提起し、ステージを変える2024春闘で大きな成果を収め、JR産業の持続的成長と組合員とその家族の幸せを築くために、全組合員が一致団結して力強く行動するよう強く訴えました。貨物鉄産労からは、辻村中央執行委員長と橋爪書記長が出席し、貨物鉄産労を代表し発言した橋爪書記長は、安全・組織・2024年問題などの政策課題認識・2024春闘について述べ、貨物連合として春闘勝利に向け団結して取り組むことを力強く発言されました。



集約答弁する政所局長



橋爪書記長



閉会挨拶をする
辻村副会長